



# 福島ロータリークラブ会報



ロータリーは  
機会の扉を開く

2020-21 RI会長  
ホルガー・クナー

【例会場】福島市上町 4-30  
クラークリアンテ サンパレス  
【例会日】木曜日 12:30  
【事務所】福島市万世町 2-5 福島銀行本店内 9F  
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp  
info@f-rotary.com

<http://www.f-rotary.com/>

## 本日のプログラム

### 新会員スピーチ

福島民友新聞社 代表取締役社長 中川 俊哉 会員  
(株)F・J・T 代表取締役 藤井 守 会員

## 会長あいさつ



2020-21 年度会長 五阿弥 宏安

今日、福島から聖火リレーがスタートしました。Jヴィレッジを出発した聖火は今、予定通りだといわき市内をめぐっているとあります。あさって3月27日までの3日間で県内26市町村、計51.7キロを廻ることになります。最終日の27日はちょうど福島ロータリークラブの創立70周年記念大会が開催される日です。お祝いムードも高まるのではと期待しています。

振り返れば60周年の時には記念大会の15日前に大震災が発生し、急きょ取りやめとなりました。当時の茂田士郎会長や白岩康夫実行委員長はじめ、皆様の無念は本当に大きかったことと拝察いたします。それだけに70周年はなんとしても無事成功させたいと心より願っています。皆様のご協力を何とぞよろしく願っています。

ところで、昨年9月の会長あいさつでイギリスでは孤独担当大臣を置いていると紹介いたしましたが、覚えていらっしゃるでしょうか? 「孤独は現代の公衆衛生上、最も大きな課題」というのが設置理由です。外国の話と思っていれば、日本でも先月、孤独担当大臣が設けられました。コロナ禍の中で増加している自殺者や引きこもりなどの対策にあたるそうです。

孤独と言えば、意外ですがソーシャルメディア(SNS)の利用時間が長い人ほど孤独を感じているという研究結果があります。SNSで大勢とつながっているのに、なぜ孤独を感じるのでしょうか。

フェイスブックなどを利用している人はお分かりと思いますが、そこでは自分がいかに幸せか、また人生を楽しんでいるか、「幸せの競争」をしている人が数多くいます。

三ツ星レストランの美味しい料理や素敵な観光地、ファッションなお店などがうらやむ体験などの写真や動画が数多くアップされています。人に見せびらかすためにわざわざ遠くまで撮影に行く人もいます。もちろんリッチな生活を装う人も実はみんなと変わらないことが多いのですが、毎日毎日、そんな写真や動画を見せられていると、「それに比べて私はなんてみじめなんだ」と思い込み、孤独を深めることとなります。

昔は人と比べると言っても自分の周りぐらいいですが、今は世界中だれとでもつながることができます。勝てようはずがありません。

ある調査によると、SNSの利用者の3人に2人は「自分なんかダメだ」と感じ、20代の半数近くは「SNSのせいで自分は魅力的ではないと感じるようになった」と答えています。男子より女子の方がその傾向が強いそうです。逆に人と会って話を交わしたりするリアルな人間関係に時間を使う人ほど孤独を感じず、幸福感は増すとのことです。

SNSの友達が何百人もいるという人は多いでしょうが、問題は友達の数ではありません。信頼できる相手とつながっていることが大事なのです。

ロータリーでは親睦を大切にします。コロナ禍でオンライン例会もチャレンジしましたが、やはりリアルな例会に優るものはありません。人と親しくなる早道は「一緒に食べ、飲み、歌い、踊ること」と言われますが、夜間例会やTENの会などで一緒になるとグンと親しみがわきます。アンケートをとったことがないのですが、きっとロータリアンの場合は孤独を感じる割合は平均よりぐんと少ないのではないのでしょうか?

SNSの問題点を述べましたが、私自身もSNS活用しており、便利さを実感しています。要は使い次第であり、SNSにおぼれることなく、リアルな人間関係も大切にしていけることが大事なのでしょう。

## 例会次第

開会点鐘 五阿弥宏安 会長

ロータリーソング  
「福島ロータリークラブの歌」

菅野 晋 会員

退職あいさつ 大関静江 様

会長あいさつ 五阿弥宏安 会長



菅野 晋 会員



大関静江 様

## 幹事報告

佐藤美奈子 幹事

## 各委員会報告

■創立70周年記念大会について

古俣 猛 会員

■例会小委員会

三浦康伸 委員

## ■本日のプログラム

## 開会点鐘

五阿弥宏安 会長



古俣 猛 会員



三浦康伸 会員

## 新会員スピーチ

福島民友新聞社

代表取締役社長 中川 俊哉 会員



福島ロータリー創立70周年、誠におめでとうございます。福島民友のお祝い紙面は3月27日の土曜日朝刊に掲載されます。たくさんの方々に広告出稿にご協力いただき、本当にありがとうございます。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

それでは、自己紹介に入ります。

福島民友新聞社の中川俊哉と申します。

支持率落ち目ですが菅首相のデビュー時のフレーズを借りれば、私は雪深い秋田の港町に国鉄職員の長男として生まれました。昭和32年11月20日が誕生日です。

最近分かって一人で興奮しましたが、米国のジョー・バイデン大統領と同じ誕生日です。もちろん向こうが年上ですが。急に親近感を覚え、バイデン先輩の健康長寿、中国とうまくやって世界平和のリーダーになって欲しいものだと祈っています。

入会の挨拶でも触れましたが、古里紹介をさせていただきます。

私の生まれた秋田市の土崎港は北前船の寄港地として昔は栄えました。山形・酒田から土崎、そこから能代や青森・十三湊と続くルートです。その先は北海道の松前、江差まで続きます。

その昔、「日本書紀」に記された歴史で、7世紀、阿倍比羅夫が蝦夷征伐に180艘の大船団を率いて湊に来たというから、自然の良港だったのでしょう。征夷大將軍の坂上田村麻呂も蝦夷征伐にやってきました。私の旧住所は「將軍野」、將軍が通った野ばらだったのでしょうか。近くに將軍が幕を洗ったので「幕洗川」という地名もありました。いまは味気ない東西南北何丁目となっています。歴史をとどめた地名は残すべきだと常々思います。

その港は、太平洋戦争の終戦前日の8月14日深夜、空襲を受けました。100kg爆弾と50kg爆弾が合わせて1万2千発以上落とされ、港は壊滅的な打撃を受け、250人以上が亡くなりました。当時、秋田は石油の産地で、日石製油所が爆撃目標だったといわれています。私が育ったころには細々としていたメインストリートは、いま御多間に漏れず見事なシャッター通りになっています。

北前船の名残を色濃く残しているのは、住民の苗字です。私の祖母の実家は加賀屋でした。北から行くと、同級生の越後谷君、担任でサッカー部顧問は越中先生、越前君、加賀屋さんはいっぱい、能登谷君、敦賀屋先輩、近江屋さん、向いは播磨屋さん、尾張屋始君などなど。私のまわりにはいませんでしたが、三国、丹波、丹後さんもいます。全国物産展のような賑わいでした。

私の学説では、農家の次男坊、三男坊ら北前船の船乗りになり、家を継ぐ必要のない立場の人が秋田美人に騙されて居ついたのではないかと思うのです。苗字を名乗るとき、自分のルーツの国名を付けたのではないかというのが、もっともらしく聞こえる私説です。

近年、この港町で珍しく脚光を浴びたのが江戸時代から延々と続いていた曳山祭りです。ほかの地方の曳山祭りと一緒にユネスコの世界遺産になりました。この祭りの港囃子を聞くと血が騒ぎます。酔っ払って曳く宵山が

クライマックスで、荒々しい港衆の気質が発散されます。私はいたって温厚ですが…。

この地で高校まで過ごし、大学時代は杜の都・仙台で4年間過ごしました。ロータリーにも立派な先輩、後輩の方々がいますが、私はろくに勉強せず、夜の国分町でバイトをし、大学の教室よりもサッカー同好会の部室に通っていたようなもので、よく卒業できたものだと今でも思います。もっと勉強しておけば良かったと思うときもありますが、当時の仙台は学生の街としてのんびりした雰囲気があって好きでした。井上ひさしさんの小説「青葉繁れる」の感じで、学生生活を謳歌しました。

国史専攻でしたので、卒論は「幕末秋田藩の動向」というタイトルはそれなりですが、好きだった司馬遼太郎風の文章で、出来損ないの小説のような内容でした。読売新聞に何とか受かっていたので、卒論が通るよう担当教授に頼み込みました。教授曰く、「君は新聞社に受かるだけあって、文章は面白い。だが、中味は全くないね」と冷酷な批評を受けました。

それでも無事卒業でき、読売新聞社で新聞記者稼業が始まりました。最初の赴任地は札幌。当時は夜郎自大な風潮が残っていて、傍若無人、めちゃくちゃな世界という印象でしたが、私には水がっていました。

北炭夕張の炭鉱事故や大韓航空機の墜落事故があって、「人の命」という人生の根源的なテーマには真剣に向き合うことができました。

札幌3年、旭川に2年いて、東京本社に異動になりました。私が入社したころは、編集記者採用と地方記者採用という2本立ての入社試験がありました。私は地方で記者生活をしたかったので地方記者として採用されていました。本社には地方の支局や記者を管轄する地方部というセクションがあり、そこにずっと籍を置いて、主に地方の問題をテーマに取材、デスクをしていました。

途中、労働組合の専従の書記長を2年間やって地方部を離れましたが、ほとんどを地方部で過ごしました。その後、2年弱、航空部というジェット機やヘリを運行する部署で部長をしたことがあります。私以外はパイロットや整備士のライセンスばかりです。肩身が狭いうえに高い所がそんなに好きではありませんでしたが、自社のジェット機やヘリに乗ってスリリングな空間を楽しみました。

その後、古巣の地方部で部長をやってから、編集局次長になりました。その編集局デスク5人ほどでローテーションを組み、夕刊や朝刊の編集責任者役になります。大きなミスをするとう首が飛んでいくといわれていて、その時、元締め役である編集局総務だったのが五阿弥会長でした。

そして2011年3月11日、私はその日の朝刊当番でした。3面スクランナーという一番旬なテーマを検証する売り物のページがあって、朝刊当番の局デスクはその会議を仕切ってテーマを決め、出稿の差配をすることが昼過ぎの大事な仕事になります。

午後2時半から会議が始まって、この日は菅直人首相の外国人献金問題が明るみになっていたので、これで決まり、菅首相も持たないかもしれない、などと打ち合わせをしていたところに、東日本大震災となりました。

この後は、戦争のような状態で、だれが朝刊当番か全く関係なく、社長まで登場し、船頭だらけの大混乱の中で新聞づくりが進みました。無我夢中の日々が何日も続き、いつ寝たか、いつ自宅に戻ったか、はっきり思い出せない



日々でした。

その年の6月、震災報道の現場を離れ、北陸支社長に異動になり、翌年、北海道支社長に異動しました。2年間、振出の北海道で過ごし、その後、本社のシェアードサービスや編集業務を受託している子会社「読売プラス」の社長を2年やった後、本社の労務担当を3年務めました。

その後、2019年に福島民友新聞社の副社長になり、20年6月から社長になりました。

震災10年、編集主幹という立場も兼ねているので、震災報道の紙面作りに関わることができました。そして2021年3月11日の福島民友の紙面づくりに携わることができました。発災当日の朝刊当番の仕事丸10年の節目にやっとこなすことができたかなあと、自分としては大

きな感慨がありました。

新聞社生活の締めくくりの時期を迎えて、入社時に志した地方での新聞づくりに携わることができ、この上ない幸福を感じています。しかも、ここ福島は地元紙として重要な使命を背負ったところ。原発事故で一番苦しんだ福島が、一番幸せになったと言われるようになるまで、紙面に希望の文字を紡いでみたいと決意しています。

民友は社名の通り「県民の友として」が信条です。ロータリーの皆さまを、心強い友として、価値ある新聞づくりに精進してまいります。

これからも私共々、民友新聞をよろしく願います。

つたない自己紹介をご静聴いただき、ありがとうございます。

#### 本日のプログラム

### 新会員スピーチ

(株)F・J・T

代表取締役 藤井 守 会員



株式会社F・J・Tの藤井守です。例会の貴重なお時間を頂きまして「新入会員スピーチ」を始めさせていただきます。弊社は、一般住宅のリフォーム業を営んでおります。世間では、高齢化社会と言われておりますが住宅も高齢化が進み合わせて新建材の需要が高まり日々、変化をしております。自分の経験を活かしお客様に対し一生住まわれる住宅のサポート。また、「お願いして良かった」と言われる企業を目指しております。

私は、現在41歳。人生経験も道半ばの人間であります。家族は、妻と愛娘が3人おります。生まれは、福島市飯坂町平野です。この地域は、四季折々に果樹産業が盛んな地域です。さくらんぼ、桃、梨、リンゴと繁忙期には、県外からも沢山の方々で果物狩りに訪れ「フルーツライン」と言う名所もあるフルーツ王国であります。わかりやすく言えば飯坂インター付近が平野地域でございます。

平野地域は、幼稚園から中学校まで一貫した学校が整っております。私は、勉強よりも気合と根性のタイプで小学校一年生より高校まで剣道をやっておりました。私には兄が二人いて年子の三兄弟です。兄が剣道を始めてから半ば強制で始めた剣道でしたが、自慢ではありませんが良くも悪くも藤井三兄弟と言われておりました。武道は、「礼に始まり礼で行い礼で終わる」と言われ厳しい環境の中で行われますがその他に関しては、思い通りの体育会系で厳しい縦社会であったと記憶しております。小学生より才能が出てきて地元のスポーツ小から他の道場にも所属し週5日ほどの練習を重ねており、おかげで市内では、賞を総なめし県では常に上位に位置しておりました。中学生の時は、兄弟で福島国体の強化選手に選ばれました。しかし、膝の負傷により夢かなわずに選抜組には選ばれませんでした。やはり、強い人間は体調管理等を含め試合に合わせて参加し、私のようにがむしゃらに練習に励む事が全てではないと思われ知らされた記憶がございます。

福島県立福島明成高校に入学し剣道を続けておりましたが、厳しい練習を過ぎてきた時期に遊びを覚え、剣道よりも夜な夜なバイクにまたがっていた時間が多く「将

来の夢は、警察官」と決めておりましたが逆にお世話になる事が多々ありました。

卒業後は、現場人として住宅に係る仕事に従事し様々な経験をさせていただきました。振り返れば、現在の現場環境と比べ昔の現場環境と言え、「暗くなるまでやれ！一服している暇があるなら仕事を覚えろ！」とパワハラの嵐であったと思います。しかし、その環境を乗り越えてきたからこそ今があるのかなと思います。

29歳の時に妻の後押しで個人起業し、後に法人化をいたしました。34歳の時に公益社団法人福島青年会議所に籍を置かせていただき、世の為、人の為と貴重な経験とかけがえのない友を多く得ました。

話は、変わりますが趣味についてお話をさせていただきます。趣味は、海外旅行です。聞こえは良いですが近場の東南アジアが多いです。兄達は、私立の高校で修学旅行が海外でした。他界した父が気を使い20歳の時に初めて渡航したのがフィリピンでした。当時は、インフラ等も整備されておらずかなりの衝撃を受けました。この場では、話せない環境の場所も多くありました。カルチャーショック受け日本に帰国し、自分の環境がどれだけ幸せな事かと感じました。渡航した時に初めてロータリークラブのポロシャツを着ていた方々を見たのもその時でした。

何が目的で東南アジア圏なのか、やはり綺麗な海とオープンで受け入れてくれる国民生が好きで、尚且つ自分がネガティブな時にポジティブになって帰ってくるのが好きなので海外旅行をします。先進国と言われる日本ですが現在は、高齢化社会であり少子化です。隣国の東南アジアは、人口増加、平均年齢が20代～30代となっております。今後の日本の大きな課題だと感じております。

もう一つの趣味は、船釣りです。月1回は、行っております。昔から遊びで釣りをしていましたが釣りの師匠と出会いハマりました。引きの違いや型の違いがあり、上がるまでの全集中が楽しみで釣りをしております。魚の種類によって釣れる数が違いますが、釣り専門で魚は後輩の飲食店に無償で提供しております。

最後になりますが、伝統ある福島ロータリークラブの会員として活動を通し多くの学びと少しでもクラブの支えになるようにと思っております。

年齢を考えれば道は長いですが、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく願います。以上で「新入会員スピーチ」を終わります。ご清聴、ありがとうございます。

## 私のひとこと

安齋圭一 会員



最近ハマっているマイブームがあります。筋トレです。昨年10月しばらくぶりに採血検査をしたのですが、その結果に驚いて慌ててジムに通いはじめました。多い時は週に4日ほど通っています。コロナ禍でしばらくの間スポーツジムも閉鎖されていましたが、夏頃から再開され、今では多くの会員で賑わっています。

震災前、数年間ジム通いをして筋トレをしておりましたが、10年間のプランクというよりも10歳年をとったというのが正しいようで、明らかに筋力の衰えを自覚し、以前は軽く持ち上げられた重量はビクともしませんでした。続けることは大切で、徐々に動かせる重量も増えてきて、胸筋や上腕が太くなった気がします。折角筋トレをするのだからと若い人たちの真似をしてプロテインを飲み、自宅用にダンベルまで購入する始末です(笑)。

基礎代謝の向上、自律神経の調整(睡眠の改善)、脂肪細胞の燃焼(ダイエット効果)、糖代謝の改善(糖尿病の改善)、記憶力の向上(認知症予防)、加齢変化の抑制(成長ホルモン、男性ホルモンの分泌で若々しくなる)等々いろいろな筋トレの効能が確認されており、良いことづくめの気がしています。ランニングなどは苦手でしたが、筋トレは自分にあっていたようで、検査値の異常も正常化して益々やる気がでて、重いバーベルを持ち上げることに快感さえ感じてしまっています。

皆様も軽い筋トレから始めてみませんか。

## 例会プログラムのご案内

4月8日(木) 12:30～ クーラクーリアンテサンパレス

【通常例会】新会員スピーチ 日銀短観

日本銀行 福島支店長 植田 リサ 会員

PETS報告 坪井 大雄 会長エレクト

■「友」4月号紹介

4月15日(木) 12:30～ クーラクーリアンテサンパレス

【通常例会】新会員スピーチ

日本生命保険相互会社 福島支社長 櫻井 英樹 会員

(株)すみれ地所 代表取締役 鈴木 朋恵 会員

## 幹事報告

### 例会変更のお知らせ

■福島西RC、3/29(月)の例会は18:30よりエルティにて懇親夜間例会となっております。

■福島北RC、3/30(火)は理事会承認休会となっております。

### その他のお知らせ

■4/4(日)、11(日)の地区大会については、ガバナー事務所より全会員参加の依頼がきております。

4/4(日)、11(日)共にYouTube配信となりますが、ご自宅での視聴が難しい方は、当会場となりのお部屋をご準備しておりますので、ご参加くださいますよう宜しくお願いいたします。

お申し込みは事務局までお願いいたします。

■3月ロータリーレートは1ドル106円となりますのでお知らせいたします。

## 大沼健次会員・櫻井英樹会員が福島市内聖火ランナーに

東京五輪の聖火リレーが3/25(木)、Jヴィレッジを出発しました。2日目の26(金)は、相馬市、飯館村、新地町、川俣町、そして福島市へ。福島市での第一走者は、菊池桃子さん。そして、福島市役所付近では、大沼健次会員が聖火をつなぎ、福島県庁には櫻井英樹会員がゴールしました。

また、山貫昭子会員は聖火が福島県内を巡った三日間、聖火ランナーのサポート運営に携わられました。



大沼会員の  
聖火ランナーバッジ



ニコニコBOX報告 本日の投入額 32件 ¥89,000 累計 ¥1,927,000 [報告] 三浦康伸 委員

### 五阿弥 宏安 会長

大関さんが今月末でおやめになります。これまで長年にわたりロータリーのお世話をしていただき、大変ありがとうございました。でもこれからもお知恵を貸してください。宜しくお願いいたします。

### 佐藤 美奈子 幹事

中川俊哉会員と藤井守会員のスピーチ楽しみにしています。

### 渡邊 又夫 会員

大関さん長い間ご苦勞様でした。本当はクラブ最古参46年の私の入会直後に中合の経理部から転任就任されました。言い換えればクラブNo.2の経歴を持ってました。ご慰勞申し上げます。

### 幡 研一 会員

中川俊哉会員、藤井守会員のスピーチを楽しみにして。

本日、Jヴィレッジからオリンピックのトーチリレー出発しました。明るく安全な社会を作りましょう。

### 大沼 健次 会員

明日、聖火ランナーで走ります。コロナの終焉、オリンピックの成功を祈って走ります!!

### 横山 淳 会員

本日無事、福島Jヴィレッジよりオリンピック聖火リレーがスタートし何よりです。

### 藤井 守 会員

本日は、新会員スピーチお世話になります。

### 中川 俊哉 会員

久しぶりの出席になりました。本日、新会員スピーチをします。宜しくお願いいたします。

### 大関 静江 事務局員

長きにわたり大変お世話様になりました。会員のみなさまには今までご指導いただき大変感謝しております。

福島ロータリークラブの今後ますますのご隆盛と、皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

クラブ会員より 安藤健次郎/伊藤雄治/植田リサ/岡田新也/小原 敏/児玉健夫/古俣 猛/相良元章/佐藤英典/佐藤充孝/佐藤良智/白岩康夫/菅沼 裕/鈴木朋恵/田沼紀美子/反後太郎/丹治正博/中川宏生/二階堂俊樹/半沢治久/三浦康伸/八代大輔/藪 政勝